

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
110023	XXX1110023			国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
授業科目	担当教員			国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
ジェンダー論	矢口 裕子	2	後期	情報文化学部情報文化学科	基礎	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	基礎	選択	1年
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	基礎	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	基礎	選択	2年
				情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	基礎	選択	2年

授業目的

ジェンダーとは、生物学的・肉体的性差と区別して、社会的・文化的に構築される性差を指す。ジェンダー論は1980年代以降一般化した新しい学問であるが、人として生まれたものであれば、年齢・人種・階層を問わず誰もが関わらざるをえない問題を多く含んでおり、2015年にはアメリカ全土で同性婚が合法化されるなど、グローバルな課題となっている。いる。本講義では、ジェンダー論を各自が自分の問題として捉えるとともに、批判的かつ建設的な眼差しをもって向きあう姿勢の構築を目指す。最新の学問的動向にも目を配りつつ、理論一辺倒にならないよう、理解の一助としてオーディオ・ヴィジュアル資料も適宜用いる予定である。

各回毎の授業内容

第1回

【授】イントロダクション
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第2回

【授】言葉とジェンダー
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第3回

【授】フェミニズムからジェンダー論へ—歴史と理論①
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第4回

【授】フェミニズムからジェンダー論へ—歴史と理論②
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第5回

【授】セクシュアル・マイノリティ①
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第6回

【授】セクシュアル・マイノリティ②
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第7回

【授】セクシュアル・ハラスメント／ドメスティック・ヴァイオレンス
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第8回

【授】ジェンダーと暴力①
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第9回

【授】ジェンダーと暴力②
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第10回

【授】男性学の位相
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第11回

【授】メディアのなかのジェンダー①
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第12回

【授】メディアのなかのジェンダー②
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第13回

【授】ジェンダーとアート①
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第14回

【授】ジェンダーとアート②
【前・後】プリントの復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第15回

【授】まとめ
【前・後】総復習、文献・資料により知識を深める（予習復習に4時間）

第16回

【授】レポート
【前・後】レポート作成（予習復習に4時間）

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							20
小テスト：授業内レポート							80
宿題：授業外レポート							
授業態度：授業への参加							
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							

授業内に隨時課す少レポート、コメントへの講評

教科書参考書

授業中に指示する。

受講に当たっての留意事項

出席のための出席は意味がない。というより、本人・他の学生・教員にとってマイナスにしかならない。私語は厳禁。自分が欠席した授業の内容・そこで伝えられた情報は自己責任で回収すること。

学習到達目標

ジェンダー論の基礎概念・歴史的経緯を学ぶとともに、自分の生き方にかかわる問題としての意識が身につく。

JABEE

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習